



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

3 / 2016
(通算 670 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ)キョウトフホウシャセンギシカイ

平成 28・29 年度地区理事候補者の選挙に関する告示

平成 28 年 3 月 1 日

各地区会員各位

公益社団法人京都府放射線技師会
選挙管理委員会委員長 榎本 博

(公社)京都府放射線技師会役員選任規程第 3 章第 12 条及び第 13 条、第 14 条、第 15 条、第 16 条の規程に基づいて、地区選出理事候補者の選挙を各地区所属会員の互選によって行います。

各地区の有権者(全会員)は、下記の要領に従って必ず投票されますようお願いいたします。

記

- (1) 地区被選挙権者名簿から 1 名を選出し、必ず、所定の投票用紙(同封のハガキ)で投票して下さい。
- (2) 所定以外の用紙による投票は、無効とします。
- (3) 投票は無記名で行ってください。
- (4) なお、下記に掲げる会長の指名による副会長候補者または理事候補者は被選挙権者ではありませんので投票しないでください。
- (5) 投票締切日は平成 28 年 3 月 31 日(木)必着とします。

以上

会長指名による副会長候補者および理事候補者について

会長による指名役員選出について、役員選出規定第 14 条、第 15 条により、下記の候補者が指名されました。

よって、地区選出理事の被選挙者名簿より削除をお願いいたします。

副会長候補者

原口 隆志 (康生会武田病院：中-3 班)

理事候補者

皿谷 弘樹 (京都通信病院：中-2 班)

渡里 弘 (京都九条病院：南-1 班)

後藤 正 (済生会京都府病院：西-4 班)

中島 智也 (田辺中央病院：南-5 班)

新井 喬 (宇治徳洲会病院：南-3 班)

蒲 順之 (大島病院：南-2 班)

中川 稔章 (京都府立医科大学附属病院：北-4 班)

大西 孝志 (京都医療センター：南-2 班)

山根 稔教 (公立南丹病院：西-5 班)

橋岡 康志 (福知山市民病院：両丹-1 班)

平成 28・29 年度会長・副会長候補者信任投票集約結果

平成 28 年 1 月 31 日

公益社団法人京都府放射線技師会
選挙管理委員会委員長 榎本 博

平成 28・29 年度役員選挙に関する会長・副会長の信任投票の結果を下記の通り報告いたします。

記

投票期間：平成 28 年 1 月 1 日～1 月 31 日

有権者数：490 名、投票数：284 票、無効票：0 票、投票率：58%

- 1. 会長候補者 河本 勲則 君 信任：282 票、不信任 2 票
- 2. 副会長候補者 久保田 裕一 君 信任：283 票、不信任 1 票

(公社)京都府放射線技師会役員選任規定第 2 章第 10 条により、会長候補 河本 勲則君、副会長候補 久保田 裕一 君を当選人とする。

以上

平成 27 年度京都府原子力総合防災訓練に参加して

管理士会 山根 稔教

京都府原子力総合防災訓練が平成 27 年 11 月 28 日(土) に開催されました。主催は京都府、宮津市、伊根町で地域防災計画及び住人避難計画等に基づき、原子力防災対策の啓発を図ることにより、原子力災害時の被害軽減をめざすという目的で行われました。参加機関は 40 機関、参加人数約 600 名（住民（消防団員含む）300 名、防災関係機関 300 名）でした。想定は関西電力高浜発電所 3 号機の事故により、府域で OIL2（20 μ Sv/hr）の基準を超過したというものでした。

訓練は情報通信訓練、緊急モニタリング訓練、安定ヨウ素材緊急配布訓練、住民避難訓練、広域避難訓練、行政機能等移転訓練、要配慮者避難訓練、避難退域時検査・除染・緊急被ばく訓練等の部門があり、当技師会は除染・緊急被ばく訓練部門に参加し、与謝野町勤労者総合福祉センター「野田川わーくぱる」会場で活動しました。内容は車両ゲートモニタを使った車両汚染検査、ヒューマンゲートモニタを使った住民汚染検査、サーベイメータを使用した汚染検査でした。今回の訓練では 2 回の打ち合わせ会議と、事前に準備していましたが、当日は様々な問題が発生し、対応に苦慮することも多くありましたが、参加してくださったメンバーの手際よさで活動を乗り切ることができました。参加者の皆様ご協力ありがとうございました。

当技師会がこの訓練に参加し府民の皆様のために活動できたこと、診療放射線技師として避難退域時検査・除染・緊急被ばく訓練に関わり、行政機関にも認識され依頼を受けたことは、公益法人としての公益性を果たし、京都府放射線技師会として意義ある活動であったと思います。



翌日の朝日新聞に掲載されました

京都府放射線技師会平成 28 年度事業計画・予算書

京都府放射線技師会会長 轟 英彦

平成 28 年 2 月 6 日に行われた平成 27 年度第 10 回理事会にて、平成 28 年度事業計画案と収支予算案が承認されましたので、以下に報告いたします。

平成 28 年度事業計画

1. 総括

平成 27 年度の事業につきましては、会長就任 10 年目の年ではありましたが会員諸氏の協力を頂き無事終えることができました。

今年度も引き続き生涯教育セミナー「基礎技術講習会」をはじめ各種セミナーや被曝・機器管理講習会を積極的に開催します。又、学術研修会では公開講座を含め放射線技師の府民への関わりをさらに強くアピールしていきます。

また、京都府緊急被ばく医療ネットワーク会議あるいは原子力災害時の相互応援に関する基本協定を関西広域連合防災局と連携しながら包括的な協定締結が行われました。今後はより一層、京都府行政の一員として、京都府下で行われる原子力災害訓練にも積極的に参加していきます。さらに、看護大学や看護専門学校に講師としておもむき、放射線の正しい知識を身につけて頂き、各病院で放射線検査がスムーズに行えるよう、指導したいと思います。各地域に対しては中学校をはじめ高等学校で「放射線とは何」と題して講義が行えるように関係機関と協議の場を持つよう努力します。

会員減少に歯止めがかかりましたが、日本診療放射線技師会と協力をしながらいろいろな事業に取り組み、会員増加の対策を講じて行きます。法律に追加された診療放射線技師拡大業務内容について、統一講習会を各地で開催し、府民に安心安全な医療を提供できるよう全力で取り組みます。このように、会員はもちろんのこと府民及び診療放射線技師にとってよりよい技師会を目指すのは勿論のこと事業の内容も府民の目線に立ったものを目指します。会員の絶大なるご支援ご協力をお願いいたします。

以上のようにまだまだ厳しい状況ではありますが鋭意努力をして各事業の計画を出来るだけ早い時期から会員にお知らせし、参加して頂けるよう、また、会員一人ひとりの参加が活力ですので、ご協力のほどお願いします。

2. 社会事業（広報・渉外・組織・調査）

(1) 例年通り、開催予定の「第 43 回くらしと健康展」へ主催者団体の一員として積極的に参加し、京都府民に放射線医療の啓蒙と放射線を利用した検査と治療に関わる悩みの相談や診療放射線技師の業務内容の理解と存在を直接アピールしていきます。「放射線なんでも相談コーナー」では、相談内容は従来の医療被曝だけでなく、新たに取り組む環境問題など、最新の問題や客観的知識を一般の人々に広報・啓蒙する必要があると考えます。さらに、府民の皆様幅広く放射線技師業務を理解していただくために、放射線管理士委員会にも啓蒙活動を依頼・連携し、情報委員会の協力を得てホームページ上に逐次関連事項を掲載し、当法人の存在及び活動を会員だけでなく一般の人々にも社会性や公益性を案内し広く情報公開していきます。他には、他団体との連携を強化し、さまざまな機会をとおして講演活動を積極的に行います。

(2) 関連団体事業にも積極的に協力し、原子力災害対策委員会の一員として、行政（京都府）が開催します放射線（原子力関係）に関する放射線災害安全訓練・講習会などにも診療放射線技師の派遣を行い、地位向上を目指します。また、無資格者による放射線技師業務の防止については、関係機関（京都府・京都市・京都府医師会・京都府歯科医師会・京都私立病院協会）に要望書を提出し、コンプライアンス重視の社会風潮の中で、京都府市民が安心して放射線診療を受けられるよう協力を求めています。

(3) 「第 51 回京都病院学会」については、今年度も実行委員・座長を送り積極的に協力をし、会員が放射線技術向上への研究発表が出来る場として利用することにより、他団体との交流の場とします。

(4) 組織調査活動について、各会員施設及び学校へ新卒者の京都府下への就職先リスト調査を依頼し、厚生委員会と協力して「フレッシュ診療放射線技師の集い」を開催すると同時に技師会への入会を推進し、会員間の求心力の向上、各地区委員の活性化に向けて全地区委員会および学遊会を開催し、委員の意見集約を行い技師会の事業推進への協力を促します。さらに、会員への調査事業を活発にするとともに、各地区委員会へ三役とともに参加をして問題点を洗い出し把握して活性化に役立てます。各地区の班編成を調査し再編成を含めて、地区活動を活発に行えるようにします。そして、若い会員の意見の導入を積極的に行い、会の活性化に勤め、調査に関しては今会員が何を求め、何を知りたいかを把握した上で事業を推進していきます。

3. 研修事業（学術・放射線管理）

学術活動について、京都府放射線技師会の理念であります診療放射線技師の役割の充実と資質の向上を目指し、会員が望む生涯学習教育および会員相互の情報交換のできる研修会さらには府民に認められる研修会を基本に各関係団体の協力も得ながら行います。今年度も引き続き（公社）日本診療放射線技師会共催の基礎講習会、AD セミナー（看護学）等の開催（他府県との合同）も行ないます。研修会も開催し、内容は専門的なものから一般的な話題も取り入れ、府民向けの一般公開講座も行います。また、チーム医療の一員として、「法律改正に伴う統一講習会」を今年度から全診療放射線技師を対象に平成 32 年度まで開催します。

- (1) 京都市内会場：特に開催月は決めず、土曜日を基本に年 6 回程度とする。但し、時間的余裕（3 時間）のある研修会や夜間、日曜日開催も考える
- (2) 両丹地区会場：開催期は限定せず、研修会を年 3 回程度行う
- (3) 日本診療放射線技師会の基礎講習会および AD セミナー等の生涯教育を開催
- (4) 府民公開講座を年 1 回程度、研修会の一環として行う
- (5) 「業務拡大に伴う統一講習会」を 3 回以上開催
- (6) その他

社会の動静を踏まえて、必要な研修は積極的に開催

* 研修会は会員無料、非会員は有料とする。

管理士活動について、管理士会の事業の推進を図るとともに、学術・広報・組織と連携し、「くらしと健康展」や講習会（研修）計画、放射線に関する実態調査など教育・編集・調査の三分野を充実させます。さらに、原子力関係の講習会や訓練・緊急被曝フォーラムなどに積極的に参加し、他府県の放射線管理士部会と交流も行います。京都医療科学大学と協力し、線量計の校正や被ばく管理に関する講習会を開催し、京都府下の各病院の被曝災害体制にも積極的に取り組みます。

4. 情報事業（編集・情報）

編集活動について、「京放技ニュース」は基本毎月 1 日発行としたい。「京放技ニュース」は会員に対して最新情報を提供・会員相互の意見交換の一つでありますので、積極的な記事をたくさん投稿していただきたい。また、各委員会との連携を強め、充実した紙面と長期計画の掲載をし、予定が立てやすいように配慮します。また、「京都府放射線技師会雑誌」については年度末に 1 回発行しますが、昨年と同様に内容は府民をはじめ誰が読んでも参考になるものとし、さらに、平成 35 年度発刊の 75 年史についても取り組んでいきます。

情報活動については、京放技・日放技関係の記事をインターネットを通じて広報し、会員に対して迅速な情報提供を行い、会員の交流や教育を深めることを目的とし会員からの投稿記事の掲載を行うなどさらに整備し、各種団体とのリンクを積極的に行います。京都府民に対して公益法人としての役割を充分に果たすようホームページでは府民向けの資料を整理するとともに、府民の方が積極的に活用して頂けるようにします。

また、公開講座をはじめ各種の放射線に関連するイベントの案内を行い、組織調査・広報渉外・放射線管理士ならびに放射線機器管理士と共に、様々な情報提供を行い、府民の皆様に向けた医療被曝や医療機器コーナーを充実させます。さらに、放射線に関する質問に関しても活用して頂けるよう広報し、正確かつ迅速に答えられるようにし、診療放射線技師の業務を理解していただく為、各委員会と連携を深めることに務めます。

5. 厚生事業

厚生活動について、会員相互の親睦を図るための重要な事業であることから、懇親を深める事業を計画します。また、フレッシュ診療放射線技師の集い、新年会は例年通り開催します。

6. その他

- (1) 表彰関係

昨年度に実績を踏まえて、個人（会員）・団体に対する表彰を積極的に行います。

- (2) 創立 70 周年記念事業

平成 29 年度開催に向けて、準備を進めていく。

平成 28 年度 収支予算書 (収支ベース)

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 京都府放射線技師会

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入				
基本財産運用収入	250	250	0	
②受取会費収入	5,680,000	5,595,000	85,000	
正会員会費収入	5,030,000	4,920,000	110,000	会員 483 名 新入会 20 名
賛助会員会費収入	650,000	675,000	△25,000	25,000 円×27 社
③事業収入				
広告料収入	700,000	850,000	△150,000	
④受取補助金収入				
日本診療放射線技師会補助金収入	0	0	0	
地方公共団体補助金収入	90,000	90,000	0	
⑤受取負担金収入				
日本診療放射線技師会負担金収入	50,000	50,000	0	
⑥寄付金収入				
寄付金収入	10,000	10,000	0	
⑦雑収入				
受取利息	200	300	△100	
雑収入	10,000	10,000	0	
⑧特定資産取崩収入				
記念事業積立金	0	0	0	
記念事業積立金	0	0	0	
事業活動収入合計 (A)	6,540,450	6,605,550	△65,100	
2. 事業活動支出				
①事業費	4,309,500	4,411,000	△101,500	
印刷製本費	1,000,000	1,100,000	△100,000	
通信運搬費	440,000	436,500	3,500	
通信運搬費	40,000	40,000	0	
連絡費	360,000	360,000	0	
IT 関連費	20,000	30,000	△10,000	
電話料	20,000	6,500	13,500	
賃借料				
会場費	300,000	350,000	△50,000	
諸謝金				
講師費	260,000	260,000	0	
公益法人記念式典	0	0	0	
福利厚生費	495,000	445,000	50,000	
調査研究費	120,000	120,000	0	
図書費	5,000	5,000	0	
福利厚生費	310,000	280,000	30,000	
渉外費 (慶弔)	60,000	40,000	20,000	
会議費	197,500	197,500	0	
学術	20,000	20,000	0	
編集	20,000	20,000	0	
広報渉外	7,500	7,500	0	
組織調査	20,000	20,000	0	
管理士	30,000	30,000	0	
厚生	5,000	5,000	0	
情報	25,000	25,000	0	
特別	20,000	20,000	0	受賞者選考、選管
地区 (7 地区)	50,000	50,000	0	

旅費交通費		430,000	430,000	0	
	学術	50,000	50,000	0	
	編集	30,000	30,000	0	
	広報渉外	10,000	10,000	0	
	組織調査	45,000	45,000	0	
	管理士	80,000	80,000	0	
	厚生	20,000	20,000	0	
	情報	25,000	25,000	0	
	特別	45,000	45,000	0	受賞者選考、選管
	地区 (7 地区)	125,000	125,000	0	
広報渉外		80,000	85,000	△5,000	
	くらしと健康展	60,000	65,000	△5,000	
	関連団体	20,000	20,000	0	
事業雑費		5,000	5,000	0	
給料手当		528,000	528,000	0	
	給料通勤手当	520,000	520,000	0	
	法定福利費	8,000	8,000	0	
租税公課費					
	諸税	45,000	45,000	0	
受信費					
	電話料	55,000	55,000	0	
消耗品費		90,000	90,000	0	
	消耗品	70,000	70,000	0	
	印刷費	20,000	20,000	0	
光熱水料費		40,000	40,000	0	
消耗什器備品費		15,000	15,000	0	
リース費		47,000	47,000	0	
支払負担金		12,000	12,000	0	
委託費					
	事務所管理費 2 階	258,000	258,000	0	
保険料					
	火災保険料	12,000	12,000	0	
②管理費		2,005,540	2,012,540	△7,000	
給料手当		487,500	487,500	0	
	給料通勤手当費	480,000	480,000	0	
	法定福利費	7,500	7,500	0	
会議費		315,000	315,000	0	
	理事会費	130,000	130,000	0	
	各委員会費	80,000	80,000	0	
	役員活動費	40,000	40,000	0	
	総会開催費	15,000	15,000	0	
	総会準備費	50,000	50,000	0	
旅費交通費		585,000	585,000	0	
	理事会旅費	340,000	340,000	0	
	各委員会旅費	145,000	145,000	0	
	役員活動旅費	100,000	100,000	0	
租税公課費					
	諸税	35,000	30,000	5,000	
支払負担金		6,000	8,000	△2,000	
受信費					
	電話料	80,000	80,000	0	
消耗品費		110,000	110,000	0	
	消耗品費	70,000	70,000	0	
	通信費	40,000	40,000	0	
光熱水料費		100,000	100,000	0	
消耗什器備品費		15,000	15,000	0	
リース費		47,000	47,000	0	

委託費	事務所管理費 1 階	140,040	140,040	0
保険料	火災保険	10,000	10,000	0
渉外費		60,000	60,000	0
管理雑費		15,000	25,000	△10,000
③特定貯金積立金		50,000	0	50,000
	特別事業	0	0	0
	備品購入	0	0	0
	事務所整備	50,000	0	50,000
	マンション改修	0	0	0
④記念事業積立預金				
	創立 70 周年記念事業	50,000	50,000	0
事業活動支出合計 (B)		6,415,040	6,473,540	△58,500
事業活動収支差額 (A) — (B)		125,410	132,010	△6,600
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入		0	0	0
2. 投資活動支出				
	固定資産取得費	0	0	0
	事務所購入費	0	0	0
	什器備品購入費	0	0	0
投資活動支出合計 (C)		0	0	0
投資活動収支差額		0	0	0
III 財務活動支出の部				
	財務活動収入	0	0	0
	財務活動支出	0	0	0
	財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費 (D)		125,410	132,010	△6,600
当期収支差額 (A) — (B) — (C) — (D)		0	0	0
	前期繰越収支差額	911,136	911,136	0
	次期繰越収支差額	911,136	911,136	0

第 10 回理事会報告

平成 28 年 2 月 6 日

議長に山本理事、書記に平井理事を選任し午後 16 時 00 分より議事に入った。

I. 経過報告及び計画に関する件

1) 経過報告および計画 森会長

(経過報告)

- ・ 1 月 10～11 日 業務拡大に伴う統一講習会 京都第二赤十字病院
- ・ 1 月 16 日 京都私立病院協会新年互礼会
- ・ 1 月 17 日 滋賀県創立 65 周年記念式典 滋賀県琵琶湖ホテル
- ・ 1 月 30～31 日 業務拡大に伴う統一講習会
大阪がん循環器病予防センター
- ・ 2 月 6 日 平成 27 年度京放技第 10 回理事会 京放技事務所 (計画)
- ・ 2 月 7 日 近畿地域診療放射線技師会囲碁大会 ルビノ京都堀川
- ・ 2 月 13 日 近畿地域第 2 回会長副会長会議 ブラザ淡海
京都府医師会新春賀詞交歓会 ホテルグランヴィア
- ・ 2 月 14 日 近畿地域診療放射線技師会学術大会 ブラザ淡海
- ・ 2 月 20 日 第 31 回日本診療放射線技師学術大会監査
日放技事務所
- ・ 日本診療放射線技師会第 6 回理事会 日放技事務所
- ・ 3 月 5 日 府民公開講座 (第 559 回研修会) ルビノ京都堀川
平成 27 年度新春の集い ルビノ京都堀川
- ・ 3 月 12 日 平成 27 年度京放技第 11 回理事会 京放技会議室
- ・ 3 月 27 日 学遊会 (バーベキュー) 城陽市友愛の丘
- ・ 4 月 2 日 期末監査 京放技事務所
- ・ 4 月 9 日 平成 28 年度京放技第 1 回理事会 京放技会議室
- ・ 5 月 7 or 14 日 研修会、通常総会 エーザイ or 第一三共事務所
通常総会後理事会開催
- ・ 6 月 4～5 日 日本診療放射線技師会総会 場所未定

2) 各委員会報告及び計画

【庶務】皿谷理事

- ・ 会員数 1 月 31 日現在 521 名 (先月+5)
- (内訳) 名誉会員 5 名・正会員 489 名・賛助会員 27 社
- 新入会 1 名、転入会 1 名
- ※平成 27 年度新入会累計 41 名 (再入会 2 名含む)
- ・ 委員会報告
- ・ 対外文書 84 件、発刊文書 4 件 (1 月 1 日 ~ 1 月 31 日)
- ・ 新入会 1 名を承認

【財務】渡里理事

- ・ 会費納入状況 (平成 27 年 12 月末日現在)
- 平成 27 年度分納入 16 名、平成 26 年度分納入 1 名
- 平成 27 年度未納者 49 名、平成 26 年度未納者 12 名
- ・ 平成 27 年度 1 月会計収支報告
- ・ 1 月 5・6・13・29 日 委員会開催 京放技事務所
- ・ 2 月 20 日 委員会開催 京放技事務所

【学術】原口理事

- ・ 1 月 10～11 日 統一講習会開催 (57 名参加) 京都第二赤十字病院
- ・ 2 月 14 日 平成 27 年度近畿地域学術大会予定 ブラザ淡海
- ・ 3 月 5 日 第 559 回研修会開催 (府民公開講座) 予定
ルビノ京都堀川
- ・ 2 月 18・26 日、3 月 8 日 講師派遣予定 京都府看護専修学校

【編集】中島理事

- ・ 1 月 22 日 南地区委員会出席 京都医療センター
- ・ 1 月 25 日 2 月号ニュース校了 田辺中央病院
- ・ 1 月 30 日 年報広告申し込み企業へお礼メール送信
- ・ 2 月 15 日 3 月号ニュース編集作業予定

【広報・渉外】新井理事

- ・1月22日 南地区委員会出席 京都医療センター
- ・2月1日 無資格者による診療放射線技師業務の防止に関する要望書発刊
- ・2月2日 京都病院学会実行委員会参加 京都私立病院協会
- ・3月1日 京都病院学会理事会・実行委員会出席予定 京都私立病院協会

・病院学会準備委員・座長の選出要請

【組織調査】久保田理事

- ・1月11・14日情報委員会へHPでの学遊会申し込みフォーム作成依頼
- ・1月22日 南地区委員会出席 京都医療センター
- ・3月27日 学遊会開催予定 (BBQ) 城陽市友愛の丘

【厚生】中川理事

- ・1月24日 近畿地域囲碁大会打合せ ホテルルビノ京都堀川
- 近畿地域囲碁大会資料作成 京放技事務所
- ・2月7日 近畿地域囲碁大会開催予定 ホテルルビノ京都堀川
- ・3月5日 京都府放射線技師会新春の集い開催予定 ホテルルビノ京都堀川
- ・3月27日 学遊会開催予定 BBQ 城陽市友愛の丘

【情報】中田理事 (庶務理事代誌)

- ・1月16日 学遊会 BBQ 申込みフォーム作成、公開
- ・1月31日 京放技ニュース2月号掲載
- ・2月4日 府民公開講座のお知らせ掲載

【管理士】山根理事

- ・1月26日 京都府医療課へ原子力災害医療対応講師養成講座参加申し込み
- ・2月3日 近畿学術集会での管理士分科会セミナー及びネットワーク会議の参加要請依頼を近畿地区に送付
- ・2月8日 京都府原子力防災訓練検証会議参加予定 宮津市
- ・2月14日 近畿地区放射線管理士ミーティング参加予定 大津市
- 放射線管理士セミナー発表予定 大津市
- 京都府緊急医療被ばくネットワーク会議参加予定 舞鶴市
- ・3月5・6日 原子力災害研修講師育成講座(避難時除染)研修参加予定 東京港区
- ・3月13日 原子力災害研修講師育成講座(基礎知識)研修参加予定 東京港区

【受賞者選考委員会】河本副会長

- ・河本副会長が京都府の推薦で厚生労働大臣表彰を受賞された。東京サンケイプラザにて授章式が行われる予定。

II. 地区経過報告及び計画に関する件**1) 【北地区】山本理事**

- ・1月28日 選挙投票用紙はがき投かんの知らせを連絡網で配信
- ・2月3日 学遊会の案内を連絡網にて配信

2) 【中地区】楡理事

- ・1月13日 会費未納者への納入依頼
- ・1月19日 会長副会長選挙のハガキ投函の依頼
- ・1月26日 学遊会のお知らせについて配信
- ・2~3月 地区委員会開催予定

3) 【東地区】長岡理事

- ・1月12・22日 会長、副会長選挙ハガキの投函の呼びかけを配信

4) 【西地区】平井理事

- ・1月5日 西地区一斉メールにて新年のあいさつ、選挙投票用紙の投函のお願い
- ・1月6日 西地区一斉メールにて「近畿地域診療放射線技師会学術大会」の開催お知らせと参加のお願い
- ・1月19日 西地区一斉メールにて再度、選挙投票用紙の投函のお願い
- ・1月17日 西地区一斉メールにて「近畿地域診療放射線技師会学術大会」参加についての配信
- ・1月20日 2月号技師会ニュース校正確認
- ・1月25日 西地区一斉メールにて「学遊会 バーベキュー」の開催お知らせと参加のお願い
- ・2~3月前半で西地区委員会開催予定

5) 【南地区】大西理事

- ・1月10・11日 統一講習会の講師で参加 京都第二赤十字病院
- ・1月18日 選挙のハガキの投函依頼をメール配信
- ・1月22日 南地区委員会開催 京都医療センター

6) 【両丹地区】上田理事

- ・1月7日 メール配信 近畿地域学術大会事前参加登録の依頼
- ・1月12日 メール配信 両丹地区事業報告・会計報告・新年会案内
- ・1月13・18日 メール配信 会長・副会長選挙信任はがき投函依頼
- ・1月25日 メール配信 平成27年度事業報告・会計報告
- ・2月20日 両丹地区事業報告・会計報告・新年会
- ・3月18日 両丹地区理事・地区委員引継ぎ会予定(案)

7) 【西南部地区】松本理事

- ・1月22日 会長・副会長選挙投票用紙投函のお願いをメール送信
- ・1月26日 学遊会の案内メールを送信

III. その他**1) 選挙管理委員会報告 (樹本選挙管理委員長)**

- 1月31日選挙管理委員会開催した、平成28・29年度会長・副会長候補者信任投票開票と結果報告
- 平成28・29年度地区理事候補者の選挙に関する告示報告
- 次回選挙管理委員会は4月3日開催予定

2) 平成28年度事業計画、予算 (轟会長)

- ① 平成28年度事業計画を承認、② 平成28年度予算を承認、③ 資金調達及び設備投資の見込みのないことを承認
- 次回理事会は平成28年3月12日(土)京放技会議室にて開催予定以上、各議案について採択し承認された。(文責：平井)

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- 平成28年度事業計画と予算を承認

▶ 3月以降の京放技活動

- 3月1日(火) 平成28・29年度地区理事選挙の投票開始 (3月31日必着)
- 3月5日(日) 第559回研修会 (府民公開講座) ルビノ京都堀川
- 3月27日(日) 学遊会 (バーベキュー) 城陽市友愛の丘

**会 員 異 動****【新入会】**

1名